

平成 25 年 1 月 15 日

国交省関東地方整備局長

森 北 佳 昭 殿

横浜環状道路（圏央道）対策連絡協議会（連協）

会 長 比留間 哲生

早速ながら平成 24 年度一般国道 468 号（横浜環状南線、略称南線）の再評価に関する事業評価監視委員会の審議とその結論に対する地元関係住民の意見と批判をまとめた文書を同封送付いたしますので是非内容に目を通して頂きたいと思ひます。

貴職は 3 回にわたる今回の委員会に出席してその詳細を具に見聞きしておられるので、本文書で住民が何を言おうとしているかはよく分かると思ひますし、否が応でも住民の主張を認めて首肯せざるを得ないことも多いと思ひます。ただ、もし住民の主張に明らかな誤りがあると言える場合、その内容を具体的に私達に伝えて下さるようお願いします。私達住民からみて当該委員会は行政機関の行う政策の評価に関する法律の趣旨に反して、事業中止や凍結は一切眼中になく事業継続を前提にすべての審議が行われて予定の結論に至るというものであります。これでは事業評価監視といういかめしい名称はこの委員会に期待する国民を欺くものであり、実態を表わした事業評価推進委員会と改名すべきであります。そうでなく、現在の名称を名乗る以上は、委員会の在り方を抜本的に改革すべきであり、私達はそのことを強く求めます。

以上